



11月です。角間キャンパス以外で紅葉は見ましたか？今月号は10月に着任された横山先生の移動を絡めたエッセイ、羽賀先生の台湾での講演の振り返り、英国留学中の3年生の現地日より、と金沢の外の話題が多く、なんだか「行楽の秋」のような内容でお届けします。

◆◆教員エッセイ◆◆

第35回 横山智哉先生（政治コミュニケーション論）

はじめまして、10月1日より法学類に着任しました、横山と申します。専門は政治コミュニケーションで、主に社会心理学という領域からマスメディアや日常会話の政治的な影響に関する研究をしています。

もともと車の運転は好きなのですが、金沢に引っ越してすぐに知り合いの先生（私の先輩です）から車を譲って貰えることになりました。ただし、その先生が今まで乗っていた車なので居住地の埼玉県から石川県まで車を運ぶ必要がありました。長時間の運転を通じて色々と感じることがありましたが、長野県は縦に長く、高速道路で移動するのに時間がかかるなと思いました。また北陸新幹線が台風19号の影響で運転を見合わせるというニュースに最初に触れた時には、これから車で移動することになるのかと心配しました。そして高速道路での移動中は車の中でラジオをずっと聞いていました。とても些細な内容でしたが、振り返ってみるとよく記憶しているため、私にとっては忘れられない思い出になったのだと思います。

このような私の経験を研究の話に戻しますと、ラジオやテレビというマスメディアは私たちの「物の考え方」や「行動」に何らかの影響を及ぼしていると考えられますが、実際にどのような影響を与えているのでしょうか、たとえばその影響力は強い、あるいは弱いのでしょうか。このような疑問を皆さんと授業を通じてじっくりと考えてみたいと思います。これからもよろしくお願ひします。



長野県の佐久平 PA にて

台北大学での講演を終えて

Current News
最近の出来事から

去る10月24日、台北大学の王怡蘋先生と、院生時代からの友人でもある陳皓芸先生の合同講座（智慧財産學程講座）に招待いただき、「AIと著作権」と題した講演を行いました。技術発展著しい現代社会での法のあり方について問題提起し、20名ほどの学部生・大学院生の皆さんと議論を交わしました。

残念ながら私が台湾語を解さないため、日本で博士号を取られた陳先生の流麗な日台通訳を通しての講演と議論でしたが、学生の皆さんは外国人講演者に対しても全く物怖じせずに活発に発



言され、中には通訳を待たずに英語で直接話す学生さんもあり、その積極性には強く感銘を受けました。

今回のテーマは新しく未解決の論点ばかりなのですが、学生さんからは、専攻の知的財産法だけではなく憲法・行政法や法哲学などの他の法分野、あるいは技術的・政治的観点や時事問題など、多彩な観点から様々な意見が出て、研究者としても刺激を受けました。台湾は、国際経営開発研究所（スイス）による世界デ

ジタル競争力ランキングで年々順位を上げていますが（2019年は13位、ちなみに日本は23位と後塵を拝しています）、その力を目の当たりにした思いです。

これを機に、台北大学とは交流を深めていく予定です。法学類生の皆さんにも、学生時代に海外の優秀な学生さんと交流し、視野を広げる機会を得てほしいと願います。 国際私法担当 羽賀由利子



セントラルランカシャー大学派遣留学

私は現在、イギリスにあるセントラルランカシャー大学で、交換留学生として勉強しています。こちらに来てから、もうすぐ2ヶ月が経とうとしています。なんだか、つい先日飛行機に乗込んでイギリスに来たような、はたまたずっとここに住んでいたような、不思議な感じです。

大学では、英語コースに所属し、イギリスの文化やエッセイの書き方、プレゼンテーションスキルなどについて学んでいます。特に興味深かったのは、Brexit（イギリスのEU離脱）について、ディスカッションをした授業です。英語を第二言語として学ぶ人が他言語と比べ圧倒的に多い分、移民問題はEU加盟国のどこよりも深刻であると感じました。

また、法学の授業にも聴講生として参加しています。金沢大学でいう法学概論のような授業で、直近の授業では、「契約の要素」と

「IRAC 論法」について学びました。レクチャー形式なのにも関わらず、現地の学生の発言回数が圧倒的に多いことに驚き、毎回新鮮な気持ちで授業を受けています。

勉強以外にも、地域のオーケストラに参加したり、教会で開催されている留学生イベントに行ったり、日本語を勉強している学生とホームパーティーをしたりと、今しかできない経験をとくさんしています。残り7ヶ月、めいっぱい楽しみたいです。

法学類3年 T. M.



- 法学類の学生、卒業生、教員に関係するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、金沢大学法学類 Web サイトに掲載していますのでご覧ください。<http://law.w3.kanazawa-u.ac.jp/category/brochure/geppo>
- また、メールでの定期配信（無料）をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部学生課 (n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp)までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。